

令和4年度都市交通マスタープラン進行管理表

前期着手
(H29～R5)

基本戦略	実施戦略（○：重点戦略）	進捗状況
都市間・地域間を結ぶ 公共交通網の充実	○ バス路線の再編および運行ダイヤの見直し	湖東圏域地域公共交通再編実施計画に基づく路線バスの運行を平成31年4月1日から開始しております。
	○ 近江鉄道のダイヤなどの改善	彦根駅でのJRとの接続改善や、通勤・通学時の利便性向上を中心に、改善に向け協議してまいります。
	○ 予約型乗合タクシー（愛のりタクシー）の継続・充実	湖東圏域地域公共交通再編実施計画に基づく愛のりタクシーの運行を平成31年4月1日から開始しております。
	新快速電車の増発など、輸送力拡充の働きかけ	地方六団体を通じてJRに要望しました。
	短距離運賃低減（駅チカ100円）の継続	継続して実施しました。
交通結節点の機能強化	○ 駅前広場の改築・整備 【彦根駅前広場（西口）の改築】	駅前広場の再整備に向け、交通系事業者（バス・タクシー）や関係機関（県警・地元警察署・県道管理者・地元商店街など）との協議を行いました。引き続き協議を行い、問題点などの改善対策を検討しております。
	○ 駅・主要バス停における公共交通待合環境の充実	未検討
持続可能な公共交通の実現に向けた 利用促進策の充実	○ バスロケーションシステムの導入	湖東圏域での実施について、バス事業者などと協議しました。
	○ ICカードシステムの導入	令和3年3月27日から運用を開始しております。
	○ 運行車両の更新（ノンステップバス化）	老朽化したバス車両を計画的に更新するとともに、更新時にはノンステップバスの導入を進めます。
	○ 安定輸送のための人材確保	人材の確保について、行政としてできることを検討しています。
	総合路線図・時刻表の作成による 情報提供	路線・時刻表改正時に合わせて実施しました。
	WEB／携帯での情報提供 （インターネット検索システム）	臨時的な交通規制による迂回運行など、情報提供に努めました。
まちの骨格となる道路 ネットワークの整備	○ 国道8号・306号バイパスの 整備促進	国道8号米原バイパスは令和7年秋の供用開始が公表され、国道306号バイパスは令和6年の供用開始を目標に進められています。
	○ 渋滞緩和に向けた総合的な対策	彦根IC付近の駐車場と彦根城周辺を結ぶシャトルバスを運行させるパーク・アンド・バスライドの社会実験を令和4年度（秋）に開催いたしました。路線バスを組み込んだ最後の社会実験となりました。これまでの社会実験の結果から今後の本格実施に向けて検討していきます。

令和4年度都市交通マスタープラン進行管理表

前期着手
(H29～R5)

基本戦略	実施戦略（○：重点戦略）	進捗状況
	○ 都市計画道路の整備	市において、立花船町線と松原町大黒前鴨ノ巣線を継続して整備しています。なお、いずれの事業も令和7年開催の国民スポーツ大会までの完成を目標としています。
	○ 彦根市道路整備プログラムの改定	令和3年度において、「彦根市道路整備プログラム」を策定しました。
地域の魅力を向上させる道路空間の整備	○ 地域特性に配慮した道路空間の整備	都市計画道路立花船町線において、周辺環境と調和を図るため、道路の修景化や無電中化を進めています。
	○ 駐車場の再配置	パーク・アンド・バスライドの社会実験および国スポ・障スポ主催の整備等、駐車場の再配置に向けて検討しています。
	無電柱化の推進	都市計画道路立花船町線において、無電柱化に係る電線共同溝の整備を進めています。緊急輸送道路における電柱類に係る道路占用制限を行いました。
人優先の快適な歩行空間の整備	○ 道路空間の再配分による歩行空間の整備	「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」において、県道彦根港彦根停車場線（彦根駅前通り）の道路空間再配分が位置付けられました。
	○ 安全・安心な歩行空間の整備	道路改良に伴うバリアフリーを考慮した歩道整備や、既存道路のバリアフリー化を進めました。
	無電柱化の推進【再掲】	都市計画道路立花船町線において、無電柱化に係る電線共同溝の整備を進めています。緊急輸送道路における電柱類に係る道路占用制限を行いました。
自転車を利用しやすい環境づくり	○ レンタサイクル基地、駐輪場（自転車エコステーション）の設置	レンタサイクル「めぐりんこ」について、彦根駅前サイクルステーション、彦根城京橋口サイクルステーション、河瀬駅前サイクルステーションの市内3か所の貸出拠点を継続して運営しました。
	自転車走行空間の確保（自転車歩行者道、路面標示など）	市においては、道路整備やバリアフリー化にあわせ、自転車走行空間の整備を進めています。県においては、「ピワイチ」ルートにおける自転車走行空間の整備が進められています。
	○ 狭あい道路の整備	・八坂町において、1路線を整備済（H29～31） ・稲里町において、1路線を整備済（R2～4）
	被災地域への車両の交通規制	災害発生時の対応について、彦根市地域防災計画で定めております。
	道路、橋梁などの点検の実施	平成26年の道路法改定により、橋長2メートル以上の橋梁については5年に1回の頻度での点検が義務づけられ、本市においても460橋の点検を継続的に実施しています。
	道路、橋梁などの耐震診断の実施	道路法に基づく橋梁点検を継続的に実施し、耐震診断についても、今後検討します。

令和4年度都市交通マスタープラン進行管理表

前期着手
(H29～R5)

基本戦略	実施戦略（○：重点戦略）	進捗状況
災害などに備えた道路 交通環境の整備	無電柱化の推進【再掲】	都市計画道路立花船町線において、無電柱化に係る電線共同溝の整備を進めています。 緊急輸送道路における電柱類に係る道路占用制限を行いました。
	除雪体制の機能強化	彦根市地域防災計画に基づき、主要幹線道路を中心とした道路除雪実施計画を策定し、降雪・積雪時における道路交通の確保を図っています。平成29年の大雪の後、初動体制を充実させるため、気象予報会社との委託契約や、委託業者の機械維持経費の計上、重要路線の融雪剤散布を強化しました。 また、令和3年に記録的な積雪を記録したことから、新たな対策として、作業車両の増大や、緊急搬送路の強化、排雪対策などを拡充しました。 引き続き、委託業者や除雪機械の確保に向けて引き続き検討します。 平成29年度に除雪機械購入補助の要綱を見直し補助対象者および補助台数の拡大を図り、機械除雪作業の補助要綱の新設を行うことで体制の強化を図っております。
交通事故減少に向けた 施策の促進	○ 通学路交通安全プログラムの継続的な実施	学校、教育委員会、警察および道路管理者での合同点検や検証により通学路の安全対策を継続的に行なっています。 令和3年度からは、従来の小学校に限った通学路の安全対策から、中学校および未就学児が日常的に移動する経路を含めて拡充する、「彦根市子どもの移動経路交通安全プログラム」を策定し、安全対策を行なっています。
	交差点改良（ラウンドアバウトなど）	大規模な交通事故の抑制、また、災害時を見据え信号機に頼らない交差点であるラウンドアバウトを計画し、石寺町地先の市道石寺稲里線を実施します。すでに事業用地の取得を終えており、工事を実施しています。 その他、市内交差点の危険箇所においては、安全対策を検討します。
	生活道路の整備	道路整備は「彦根市道路整備プログラム」に基づき、進めてまいります。また、地域内の生活道路については、地域のご尽力も賜りながら、必要に応じ検討します。
	運転免許返納制度の周知および返納者への公共交通利用 助成制度の拡充・推進	継続して実施しました。
	交通安全施設の整備	状況を確認し、必要に応じ整備しています。また、老朽化や損傷施設については、日常的な道路パトロールや市民からの通報等により対応しています。
	段階的かつ体系的な交通安全教育の推進	幼児、児童、高齢者など、対象に合わせて、交通安全教室を開催しました。
	自転車損害賠償保険などへの加入推奨	広報ひこねへの掲載などにより、PRに努めました。
	○ 道路施設の省エネ化	道路照明灯の設置の際には、LED照明を導入するなど、省エネ化に努めています。

令和4年度都市交通マスタープラン進行管理表

前期着手
(H29～R5)

基本戦略	実施戦略 (○：重点戦略)	進捗状況
環境に配慮した道路空間の整備	街路樹の適正な管理	適正な管理を継続的に実施しています。
	低公害車、低燃費車やエコドライブの普及啓発	未検討
中心部へアクセスしやすい交通環境の整備	○ パーク・アンド・バスライド駐車場の新設および彦根城周辺を結ぶシャトルバスの運行	彦根IC付近の駐車場と彦根城周辺を結ぶシャトルバスを運行させるパーク・アンド・バスライドの社会実験を令和4年度(秋)に開催いたしました。路線バスを組み込んだ最後の社会実験となりました。これまでの社会実験の結果から今後の本格実施に向けて検討していきます。
	○ 観光バス駐車場と観光拠点の機能強化	市民会館の跡地は、地権者へ返還しました。現在は有料駐車場として利用されています。
	○ 観光車両に対する誘導案内システムの構築	都市再生整備計画(彦根駅周辺地区)に位置付けております。
	公共交通事業者や商業事業者と連携したサービスの導入	未検討
	HP・SNSなどによるアクセス情報や渋滞時間の公表	未検討
	国体などのイベント時における輸送交通計画の検討	輸送・交通計画の策定に向け、情報収集に努めました。
中心部を周遊しやすい交通環境の整備	○ 彦根城内の駐車マネジメント	彦根城内にある駐車場の段階的な移設のために、まずは都市計画道路の立花船町線の拡幅事業に取り組んでいます。
	○ 休日における城内のトランジットモール化	城内のトランジットモール化に向けて立花船町線の整備を進めています。
	○ 駐車場予約システムの導入	未検討
歴史景観に配慮した道路空間の整備	○ (都)立花佐和線(特殊街路)の整備	都市計画決定された道路であり、整備時期や整備方法について、今後検討します。
	○ 多言語に対応した観光案内サインの設置	旧城下町地区内における周遊観光を支援するため、多言語やピクトグラムで表示した案内および誘導サインの設置を進めました。
公共交通への転換に向けた市民の意識啓発	○ モビリティ・マネジメントの実施【カーフリーデーの実施】	未検討
	公共交通顕彰制度の創設(エコ通勤優良事業所認定制度登録支援)	未検討